

# press release

## ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2019年5月8日(デンマーク現地時間4月30日発表)  
PRESS-19-05

ノボ ノルディスクが、4月30日に発表した内容の翻訳版です。内容や解釈については正式言語である英語が優先されます。英文オリジナル版は、[こちら\(novonordisk.com\)](http://novonordisk.com)をご参照ください。

### ノボ ノルディスク、生産活動での使用電力を100%再生可能エネルギーへ 環境影響ゼロを目指す新たな目標を発表

ノボ ノルディスクは、全世界の自社生産設備で使用する電力を全て再生可能エネルギーとする目標が、2020年までに達成される見込みとなったことを発表しました。また、米国・ノースカロライナに672エーカー(サッカー競技場約500面分に相当)の太陽光パネルを設置する新たな設備投資を計画しており、2020年初頭から全米におけるノボ ノルディスクの全ての事業活動に利用される電力は、この設備から供給される予定であることを併せて発表しました。ノボ ノルディスクは、「RE100」加盟国の中で、生産活動において再生可能エネルギーのみの使用を実現した最初の製薬会社です。「RE100」とは、事業活動を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際イニシアチブです。

ノボ ノルディスクはまた、2030年までに全ての事業活動および輸送にかかるCO<sub>2</sub>排出ゼロを達成するという新たな目標を発表しました。この目標は、ノボ ノルディスクを環境影響ゼロの企業にするという究極の目標を掲げる、新しい意欲的な環境戦略「Circular for Zero(循環型の考え方を取り入れること)」の一部です。この戦略では、ノボ ノルディスクが消費活動を最小限に抑えて廃棄物を資源に変え、回収や再利用ができるような製品を設計・製造し、サプライヤーと協業して循環型サプライチェーンを構築することを掲げています。

ノボ ノルディスク代表取締役社長兼 CEOであるラース フルアーガー ヨルゲンセンは次のように述べています。「来年初頭から、当社の治療薬を使用している2,900万人以上の患者さんたちは、100%再生可能エネルギーにより製造された治療薬を使用することになるでしょう。2030年までに当社の事業活動および輸送における排気ガスゼロを達成することを約束すること、私たちの全てのビジネスに循環型の考え方を取り入れることで、ノボ ノルディスクは環境影響ゼロの会社であるといえる日が来るよう努力していきます」

排気ガスゼロの目標だけでなく、「Circular for Zero(循環型の考え方を取り入れること)」戦略により、当社は三つの重点領域で循環型の企業となることを目指していきます。

#### 1. 循環型企业:

ノボ ノルディスクは、埋め立て廃棄物の排除、ならびに水、エネルギーおよび資源の損失ゼロに向けて取り組むことで、生産活動で生じる環境フットプリントの削減を継続します。

#### 2. 循環型供給:

ノボ ノルディスクは、サプライヤーと協業して循環型のビジネスを促進すること、ならびにリサイクル原材料、またはカーボンニュートラルな原材料と資源の調達を増やすことで、サプライチェーンにおける環境影響を削減します。

### 3. 循環型製品:

ノボ ノルディスクは、循環型の原則に基づき既存製品の改良や新製品の設計を行い、持続可能な解決策に向けて製品の再利用およびリサイクルに取り組みます。

この新しい意欲的な目標を達成するため、またビジネスにおいて循環型の思考を加速的に浸透させるために、ノボ ノルディスクは、循環型経済(サーキュラーエコノミー)への移行を促進することをミッションとするエレン マッカーサー財団と提携します。

エレン マッカーサー財団の「サーキュラーエコノミー100(CE100)」を指揮するジョー マーフィー氏は次のように述べています。「ノボ ノルディスクが、世界をリードするサーキュラーエコノミーネットワーク『CE100』に参画する最初の製薬会社となったことをうれしく思います。ノボ ノルディスクは、生産活動で使用するエネルギーの全てを再生可能エネルギーへシフトするなど、既にサーキュラーエコノミーに対するコミットメントを果たしている実績があります。10年間で会社全体に循環型の思考を浸透させることを目標に掲げるノボ ノルディスクは、今やサーキュラー エコノミーへの移行に新たな道を切り開く企業といえるでしょう」

#### ノボ ノルディスクの再生可能エネルギーに対するアプローチ

ノボ ノルディスクは、薬剤バイアルや注射ペンを製造し、必要とする人々に届けるために、毎年莫大な量のエネルギーを使用しています。これにより当社は、今日における最大の環境問題の最前線に立っているのです。

ノボ ノルディスクは、2015年に他のグローバル企業 165社と並び、国際環境 NGO「The Climate Group(クライメイト・グループ)」および国際 NGO「CDP(カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)」が運営する「RE100」に加盟し、2020年までに生産施設で使用する電力を100%再生可能エネルギーにするという意欲的な目標を発表しました。ノースカロライナに米国における全ての事業活動の電力をまかなう太陽光パネルを設置することを発表したことは、当社の全ての生産工場で使用する電力を100%再生可能エネルギーにするという約束を順調に果たしていることを意味しています。ノボ ノルディスクは、「RE100」加盟企業の中で、この目標を達成した最初の製薬会社となります。

中国・天津にあるノボ ノルディスクの工場は、100%風力発電で稼働しています。ブラジルのモンテス クラロスでは100%水力発電、欧州の全ての生産施設は100%風力発電で稼働しています。デンマークにおける全ての施設(工場およびオフィス)は、100%再生可能エネルギーで稼働しています。

日本国内では、郡山市(福島県)にある当社の工場が日本のグリーン電力証書システムへ参加し、2016年に電力の再生可能エネルギー化100%を達成しています<sup>1</sup>。また、2017年12月にはガスを含む、全ての利用エネルギーを、CO<sub>2</sub>を排出しないエネルギーに転換すべく、グリーン熱証書を購入する契約を締結しました。これにより、2018年から郡山工場におけるCO<sub>2</sub>排出量ゼロを実現します。



1. Internal data on file. Novo Nordisk. 2016.

ノボ ノルディスクは、デンマークに本社を置き、95 年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品の開発を通じ糖尿病ケアの革新をリードしてきました。糖尿病の克服を目指して培ってきた経験や能力は、肥満症、血友病、成長障害といったその他の重篤な慢性疾患の領域にも生かされています。ノボ ノルディスクは現在 80 カ国に約 4 万 3,200 人の社員を擁し、製品は 170 カ国以上で販売されています。日本法人は 1980 年に設立されました。